



# ANNUAL REPORT 2019

業務のご案内



和布刈公園から望む門司港



若戸大橋と若松南海岸通り



あなたと共に、ハーモニー・バンク  
福岡ひびき信用金庫

## 当金庫の概要

(平成31年3月31日現在)

設 立	大正13年1月
本店所在地	北九州市八幡東区尾倉2-8-1
出 資 金	34億46百万円
会 員 数	73,080人
役 職 員 数	605人
店 舗 数	46店舗（代理店1店舗を含む）
営 業 区 域	福岡県一円 山口県下関市 大分県中津市



## 経営理念

1. 地域社会の繁栄ある未来を希い、地域とともに歩みます。（地域繁栄、金庫共栄）
2. 健全経営と独自性発揮で、お取引先の要請に応えます。（健全経営、独自性発揮）
3. 知性を磨き、創意と工夫をもって活力ある信用金庫を築きます。（知性と創意で活力金庫）

## 基本方針

1. 地域の人々の幸福と繁栄を希い、地域の豊かな未来づくりを使命とします。
2. 健全経営をモットーに、お客様のニーズに素早く対応し信頼される金庫にします。
3. 日々、豊かな人間性の向上に努め、活力ある職場と職員の豊かな生活の実現に努めます。



## C O N T E N T S

ごあいさつ	1	商品等のご案内	19
業績トピックス	2	主な手数料一覧表	22
地域社会とひびしん	4	店舗のご案内	24
沿革	5	リスク管理の体制	26
役員・組織図	6	法令遵守（コンプライアンス）の体制	28
中小企業の経営支援に関する取組み	7	金融ADR制度への対応・主要な事業の種類	29
ひびしんインフォメーション	12	信金中央金庫のご紹介	30
地域活性化に対する取組み	13	資料編	31
魅力ある職場づくり	16	※「資料編」の目次は31ページに掲載しております。	
総代会等に関する事項	17	開示項目一覧	67

## ごあいさつ



理事長  
野村 廣美

平素より福岡ひびき信用金庫をお引立て頂き、心より厚く御礼申し上げます。

本年も、ディスクロージャー誌「ANNUAL REPORT 2019 業務のご案内」を作成致しました。当金庫の経営方針や業務の内容、業績などをご紹介致しておりますので、ご高覧頂き、当金庫へのご理解を一層深めて頂ければ幸甚に存じます。

平成30年度の日本経済は緩やかな景気回復基調を辿っており、その景気回復期間は戦後最長に並んだ可能性も指摘されています。但し、過去の景気回復局面と比較しますと、力強さに欠ける面があることも事実であり、殊に当金庫のお取引先である中小零細企業においては、人口減少や少子高齢化の影響により、市場規模の縮小、経営者の高齢化と後継者不在、人手不足など様々な課題に直面し、厳しい経営環境に置かれているといえます。

このような経済環境を背景に、平成30年度は中期経営計画「“Change Challenge Create”～100年金庫に向けて～」を策定し、お客様の課題に向き合い、地域の活性化につながる施策に積極的に取り組んでまいりました。

その結果、平成30年度の当金庫の業績は経常収益14,196百万円（対前期比8.5%増）、経常費用12,783百万円（対前期比12.1%増）、経常利益1,412百万円（対前期比16.0%減）、当期純利益949百万円（対前期比40.8%減）となりました。

また、期末の自己資本比率は国内基準の4%を大きく上回る11.26%、不良債権比率は3.56%となりました。

これも偏に、会員の皆様方の平素よりのご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。

引き続き、健全経営、経営基盤の一層の強化、地域社会の繁栄のため役職員一同専心して努めてまいります。今後ともなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年6月27日

理事長 野村 廣美

## 業績トピックス

### 預金積金の推移

平成30年度は、夏期・冬期のキャンペーンとして、懸賞金付定期預金「マネーヒット」を販売しました。夏期・冬期合計で220億円を獲得しましたが、相続等の影響もあり、定期性預金は2億円の減少となりました。

一方で、要求性預金は前期比で102億円の増加となりました。

その結果、平成30年度の預金積金残高は前年比99億円増加し、6,793億円となりました。

**預金積金残高 6,793億円**



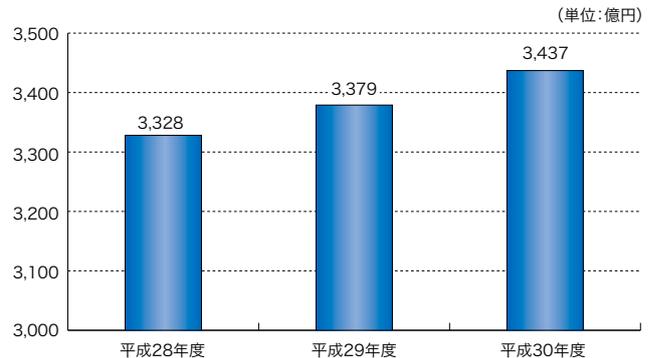
### 貸出金の推移

平成30年度は、引き続き事業性融資と消費者ローンの拡大を重点施策に掲げ推進してまいりました。

その結果、事業性融資は新規取引先の拡大により26億円増加し、個人向け融資も、消費者ローンを中心に伸び、19億円の増加となりました。

その結果、貸出金残高は前期比58億円増加の3,437億円となりました。

**貸出金残高 3,437億円**



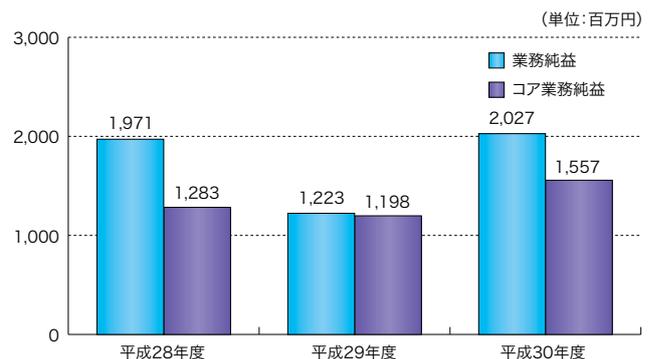
### 業務純益\*1/コア業務純益\*2の推移

資金運用収益の増加や資金調達費用・一般貸倒引当金繰入額の減少等により業務純益は803百万円増加し、2,027百万円となりました。

また、業務純益から一般貸倒引当金繰入額や国債等債券関係損益を除いたコア業務純益については、前年比359百万円増加の1,557百万円となりました。

**業務純益 2,027百万円**

**コア業務純益 1,557百万円**



\*1 業務純益・・・貸出金や有価証券等の受入利息や手数料などの収入から、預金等の支払利息や支払手数料、経費を差し引いたものです。

\*2 コア業務純益・・・業務純益から、一般貸倒引当金および国債等債券関係損益を除いたものです。

## 業績トピックス

### 経常利益/当期純利益の推移

臨時収益が増加した一方、株式等売却損の増加等により臨時費用も増加となったため、平成30年度の経常利益は前年比269百万円減少し、1,412百万円となりました。

この結果、当期純利益は前年比655百万円減少の949百万円となりました。

経常利益 1,412百万円

当期純利益 949百万円



### 単体自己資本比率

当金庫の平成30年度の単体自己資本比率は11.26%となりました。

国内基準(4%)を大幅に上回る高い水準を維持しております。

※平成25年度末より、自己資本比率規制に関する金融庁告示第19号の一部改正に伴い、バーゼルⅢ基準により自己資本比率を算出しております。

→ 詳細は、55ページに記載しています。

自己資本比率 11.26%



### 不良債権比率

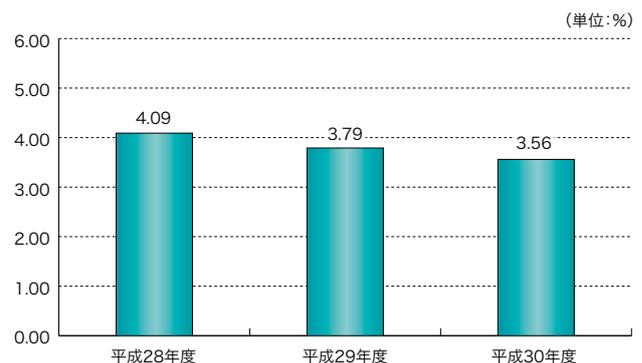
平成30年度の金融再生法に基づく不良債権額は、前年比5億58百万円減少し122億95百万円となりました。

この結果、当金庫の不良債権比率は前年比0.23ポイント低下し、3.56%となりました。

当金庫は、法令等に基づき厳格な償却・引当を行っております。引き続き、健全な資産の維持に努めてまいります。

→ 詳細は、43ページに記載しています。

不良債権比率 3.56%



## 地域社会とひびしん

当金庫は、福岡県一円と山口県下関市、大分県中津市を事業区域として、地元の中小企業や住民の皆さまが会員となっており、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元の皆さまからお預りした大切な資金(預金積金)は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民の皆さまとの強いネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、企業としての社会的責任(CSR)を自覚し、文化・環境・教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



大正13年	1月	有限責任信用組合八幡庶民金庫を設立
昭和18年	10月	有限責任信用組合八幡庶民金庫と有限責任八幡信用組合が合併し「有限責任八幡庶民信用組合」が誕生
昭和25年	4月	中小企業等協同組合法の施行に伴い信用協同組合に改組
昭和26年	10月	信用金庫法制定に伴い改組改称し「八幡市信用金庫」として発足
昭和38年	6月	北九州市発足により「北九州八幡信用金庫」と改称
昭和48年	1月	「八信同友会」（現・ひびしん同友会）発足
昭和60年	10月	「はっしん経営大学」（現・福岡ひびき経営大学）第1期講座開講
平成 2年	4月	「八信ニューリーダー会」（現・ひびしんニューリーダー会）発足
平成 6年	1月	「はっしん経営者賞」（現・福岡ひびき経営者賞）創設
平成13年	4月	「イングスクラブ」設立
	11月	北九州八幡信用金庫と若松信用金庫が合併し「福岡ひびき信用金庫」が誕生（理事長 古川育史 就任）
平成14年	9月	福岡ひびき信用金庫と直方信用金庫との2金庫間で合併基本協定書調印
	11月	福岡ひびき信用金庫・新北九州信用金庫・門司信用金庫・築上信用金庫・直方信用金庫の5金庫間で、合併基本協定書調印
平成15年	6月	高須支店新装オープン
	10月	福岡ひびき信用金庫・新北九州信用金庫・門司信用金庫・築上信用金庫・直方信用金庫が合併し、新生「福岡ひびき信用金庫」が誕生
平成16年	11月	荒生田支店新装オープン
平成17年	1月	小倉支店移転オープン
	2月	室町支店他2店舗を統合
	10月	三六支店他3店舗を統合
平成18年	1月	浜町支店他2店舗を統合
	4月	大里支店移転オープン
	6月	役員改選により 会長 古川育史 理事長 谷石喜一 就任
	10月	近衛橋支店他5店舗を統合
平成19年	2月	福岡支店新規開設
	10月	昭和町支店他2店舗を統合
平成20年	4月	門司港支店新装オープン
	5月	豊前支店新装オープン
	10月	本城東支店他1店舗を統合
平成21年	2月	「ひびしんビジネスフェア」初開催
	10月	総代の定数を150名に変更 ひびしんニューリーダー会発足20周年記念大会開催 木町支店他2店舗を統合
	12月	行橋支店新装オープン
平成22年	2月	「ひびしん女性創業塾」初年度開講
平成23年	2月	曾根支店新装オープン
	12月	預・貸金総和1兆円達成
平成24年	5月	町上津役支店新装オープン
	6月	理事長 野村廣美 就任
	10月	守恒出張所新規開設
	11月	ひびしん同友会発足40周年記念式典開催
平成25年	6月	古川育史会長退任
	10月	5金庫合併10周年記念「飛鳥IIクルーズ」実施 当金庫及び大分みらい信金、西中国信金による「大規模災害発生時の相互支援に関する覚書」を締結
平成26年	2月	創立90周年・5金庫合併10周年記念式典開催 葛原湯川支店を統合
	4月	大蔵支店を代理店へ移行
	5月	福岡ひびき経営者賞20周年記念式典開催
	6月	千早支店新規開設
	12月	折尾支店新装オープン
平成27年	3月	東二島支店新装オープン
	6月	宮丸支店を統合
	9月	宇野支店を統合
平成28年	9月	ベイサイドプラザ若松出張所閉店
平成30年	1月	椎田支店・築城支店を統合し、築上町支店新装オープン
	5月	当金庫と磐田信用金庫の2金庫間で業務連携協定を締結
	8月	守恒出張所閉店
平成31年	4月	九州管内16金庫「飛鳥IIしんきんりレークルーズ」開催
令和元年	7月	黒原支店を移転し、城野支店として新装オープン



令和元年7月8日城野支店オープン



## 中小企業の経営支援に関する取組み

### ① 中小企業の経営支援に関する取組み方針

当金庫では地域に密着した金融機関としての強みを生かし、中小企業の実態を把握、企業の経営課題解決に対する主体的な取組みに対し積極的に支援を行います。また、平成28年9月に金融庁が公表した「金融仲介機能のベンチマーク」をこれらの取組みを客観的に評価する重要な指標と位置付け、その数値を開示し、地域のお客様にご理解いただけるように努めてまいります。支援に当たっては、必要に応じて外部専門家・外部支援機関等と連携し、企業の実態に合った支援を適切に行うように取り組んでいます。

なお、以下の表で「金融仲介機能のベンチマーク」に該当するものは **ベンチマーク** と表示しております。

### ② 中小企業の経営支援に関する態勢整備・取組みの状況

#### ■ 全取引先数と地域の取引先数の推移 (先数単体ベース) **ベンチマーク**

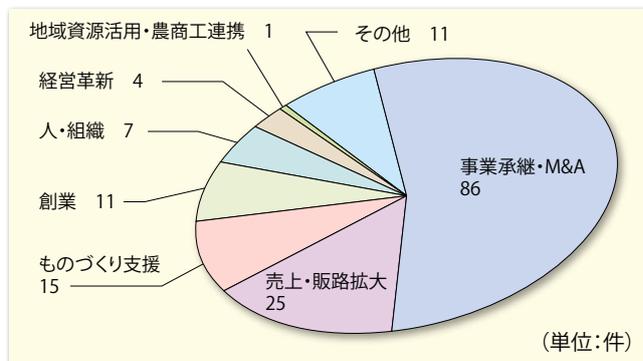
(単位:先)

	平成30年3月期				平成31年3月期			
	地元(福岡県)		地元外(福岡県外)		地元(福岡県)		地元外(福岡県外)	
	北九州市	北九州市以外	大分県・山口県	その他	北九州市	北九州市以外	大分県・山口県	その他
全取引先数	8,234				8,458			
地域別の取引先数の推移	8,177		57		8,392		66	
	5,775	2,402	21	36	5,871	2,521	29	37

#### ■ 平成30年度 支援課題別集計

中小企業からの経営相談は営業店と本部が連携して行います。また、高度専門的な課題の場合は、国の「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」による専門家派遣制度の活用、福岡県よろず支援拠点・北九州市中小企業支援センターとの連携により課題解決のお手伝いを致しました。

支援課題	先数	
	件数	構成比
事業承継・M&A	86	53.8%
売上・販路拡大	25	15.6%
ものづくり支援	15	9.4%
創業	11	6.9%
人・組織	7	4.4%
経営革新	4	2.5%
地域資源活用・農商工連携	1	0.6%
その他	11	6.9%
合計	160	100%



### ● 創業・新規事業開拓の支援

#### ■ 当金庫が関与した創業件数 **ベンチマーク**

	平成30年3月期	平成31年3月期
創業関与件数	51件	68件

#### ■ 創業支援先数 **ベンチマーク**

	平成30年3月期	平成31年3月期
①創業計画の策定支援	18先	11先
②創業期の取引先への融資(保証協会)	33先	57先

## ■ ひびしん女性創業塾

平成31年1月から2月の土曜日5日間コースで10回目となる「ひびしん女性創業塾」を開催し、28名の方が受講されました。この「ひびしん女性創業塾」は地域金融機関として、創業・起業を目指すやる気のある女性の創業支援を通じて、地域経済・産業の活性化、新規雇用の創出を図ることを目的としています。過去10回の開催で325名が受講し、様々な業種で56名の方が創業されました。

この他、受講後のフォローのため創業相談会なども開催、創業に向けた実務的な支援も積極的に取り組んでいます。



## ■ 女性創業塾受講生の創業状況（平成31年3月31日現在）

(単位：名)

	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	1~10期計
受講者(a)	42	35	39	28	30	36	32	25	30	28	325
受講時点で既に創業済み(b)	6	2	6	2	3	7	5	4	6	4	45
受講後創業(c)	10	8	9	5	5	7	5	1	6	0	56
創業率(c/(a-b)×100)	27.8%	24.2%	27.3%	19.2%	18.5%	24.1%	18.5%	4.8%	25.0%	0.0%	20.0%

## ■ 日本政策金融公庫提携

当金庫では日本政策金融公庫と提携した新規創業等にかかる協調融資制度（創業支援ローン「通称：Wing」）を取扱っています。



## ● 成長・成熟段階における支援

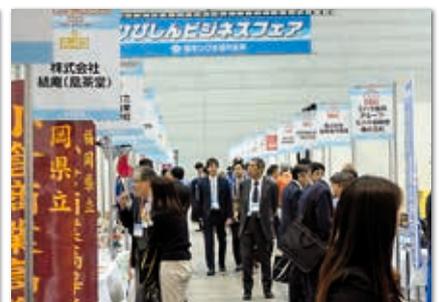
### ■ 販路開拓支援を行った先数 **ベンチマーク**

		平成30年3月期	平成31年3月期
販路開拓支援を行った件数	地元	37件	16件
	地元外	39件	25件
	(うち海外)	(18件)	(18件)

## ■ ひびしんビジネスフェア2018

平成30年11月28日（水）西日本総合展示場において、「ONE KYUSHU つなぐ つながる」をテーマに「ひびしんビジネスフェア2018」を開催いたしました。

出展企業179社・団体、バイヤー・地元応援企業26社、経営相談・情報提供機関25社・団体の合計230社・団体が出展、当日は1,725名もの皆様にご来場頂きました。商談総件数は2,761件（うち成約件数212件）となりました。



## ■ ひびしんビジネスフェア商談結果（平成30年12月5日現在）

(単位：件)

商談総件数		個別商談		フリー商談		バイヤー商談	
件数	成約件数	件数	成約件数	件数	成約件数	件数	成約件数
2,761	212	1,022	141	1,606	39	133	32

## ■ 福岡県よろず支援拠点との連携

平成30年12月20日に福岡県よろず支援拠点と連携し、福岡市にある福岡県中小企業振興センターにて「創業計画&創業の資金調達セミナー」を開催しました。

また、豊前支店および築上町支店に常設した経営相談窓口のPCよりテレビ電話システムを通じて福岡市にある福岡県よろず支援拠点にいる38名のコーディネーター（相談員）に無料で相談することができます。



## ■ 事業者向けセミナーの開催

人口減少や少子高齢化の影響による後継者不足、人手不足、経営者の高齢化等の課題や法改正、制度変更等への対応の一助となるべく、当金庫では各種事業者向けセミナーを開催しています。平成30年8月28日に「中小企業のためのグローバル人材活用セミナー」、平成30年9月11日には当金庫と日本政策金融公庫の共催で「人手不足・採用難の時代に経営者を取り組む3つの事」、平成31年2月15日には「消費税の軽減税率制度及び適格請求書等保存方式」についてセミナーを開催いたしました。



グローバル人材活用セミナー



共催セミナー



消費税セミナー

## ■ 事業承継等の支援への取組み **ベンチマーク**

	平成30年3月期	平成31年3月期
M & A 支援先数	45先	70先
事業承継支援先数	10先	16先

## ■ 外部と連携した本業支援への取組み **ベンチマーク**

	平成30年3月期	平成31年3月期
外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数	39先	21先
取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数	49先	37先

## ● 経営改善・事業再生・業種転換等の支援

経営改善・事業再生・業種転換支援等の支援業務には中小企業基盤整備機構、福岡県信用保証協会、北九州産業学術推進機構等の外部支援機関との連携強化に努め、実効性の高い支援の実現を目指して取り組んでいます。

## ■ 金融機関が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況 **ベンチマーク**

	年 度		平成30年3月期		平成31年3月期	
	条件変更総数	好調先 順調先 不調先	482先	25先 83先 374先	400先	18先 82先 300先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況						

■ 経営改善支援の取組み実績（平成30年4月～平成31年3月）

（単位：先）

債務者区分	期初債務者数	うち 経営改善支援 取組み先 $\alpha$	$\alpha$ のうち期末に債務者 区分がランクアップし た先数 $\beta$	$\alpha$ のうち期末に債務者 区分が変化しなかった 先数 $\gamma$	$\alpha$ のうち再生計画を 策定した先数 $\delta$	
正 常 先 ①	6,111	0		0	0	
要注意先	うちその他要注意先②	1,812	183	5	178	183
	うち要管理先③	14	10	0	10	10
破 綻 懸 念 先 ④	150	1	0	1	1	
実 質 破 綻 先 ⑤	122	7	0	7	7	
破 綻 先 ⑥	26	0	0	0	0	
小計（②～⑥の計）	2,124	201	5	196	201	
合 計	8,235	201	5	196	201	

（注） 期初債務者数及び債務者区分は平成30年4月の期初時点で集計しております。  
債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む）であり、個人ローン、住宅ローンなどの先は含んでおりません。

③多様な顧客ニーズに応えるための取組み

当金庫では中期経営計画に掲げた人材育成強化のため、職員向けに様々な研修を実施しています。地域社会に愛され、地域に貢献出来る人材となるべく、日々研鑽に励んでいます。

■ 取引先の本業支援に関連する研修等の実施数、研修等への参加者数、資格取得者数 **ベンチマーク**

		平成30年3月期	平成31年3月期
取引先の本業支援に関連する研修等の実施数、研修等への参加者数、資格取得者数	研修実施回数	8回	13回
	参加者数	231名	298名
	資格取得者数	5名	4名

グループワーク発表会

2月2日

今後、金庫の中心となる若手渉外担当者および窓口担当者の提案力強化を目的にグループワーク発表会（ロールプレイング）を開催しました。用意されたテーマの下、若手職員から中堅職員がエリア毎に1つのチームを結成し、複数回のグループワークを重ね本発表会に臨みました。職員のスキルアップや若手職員と中堅職員との交流の機会として、大変有意義な大会になりました。渉外部門の優勝は北部エリア第1グループ、テラー部門の優勝は東部エリア第2グループでした。



渉外部門優勝北部エリア第1グループ



テラー部門優勝東部エリア第2グループ



## 「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入や保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人与経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分検討するなど、適切な対応に努めています。

	平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月
新規に無保証で融資した件数	1,013件	1,570件	1,319件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	12.49%	13.67%	9.25%
保証契約を解除した件数	0件	49件	38件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限定)	0件	0件	0件

## 金融円滑化に関する基本方針

当金庫は、地域の中小企業および個人のお客さまに必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、全従業員が協働して以下の方針に基づき、地域金融の円滑化に積極的に取組んでおります。

### 記

1. 当金庫は、経営理念である地域社会の繁栄に貢献するため、コンサルティング機能を十分に発揮して、お客さまの経営改善につながる支援を継続してまいります。
2. 当金庫は、お客さまそれぞれの課題に応じた最適な解決策を、お客さまの立場に立ってご提案し、実行支援することに積極的に取組んでまいります。
3. 当金庫は、必要に応じて外部専門家や外部専門機関等と連携を図りながら、貸付条件の変更等資金供給に努めてまいります。

お客様からの新規ご融資やお借入条件の変更等に関するご相談等は、各営業店または本部へお問い合わせください。

### ●本部の連絡先

融資部 融資統括グループ TEL 093-661-2412

(受付時間 平日9:00~17:00 土・日・祝日・年末年始を除きます)